

学長メッセージ

2月に入り、卒業生、修了生のみなさんは、卒業、修了に向けて最後の目標達成のために日々努力されていることと思います。今年度は新型コロナウイルスの世界的流布で全く想像さえしなかった事態となってしまいました。東京オリンピックの延期をはじめ、多くの行事が中止や延期を余儀なくされました。本学においても、昨年度の卒業式、今年度の入学式を中止せざるを得ず、悔しい思いをしてきました。授業も対面を極力さけオンライン中心、課外活動も自粛要請等、学生のみなさんには満足なキャンパスライフを提供することができず、残念な思いでいます。新型コロナウイルスはいまだ終息の見通しがつかず、ニューノーマルな時代を切り拓くことが求められるようになってきました。

このような状況の中、3月に予定している卒業式・学位記授与式をどうするのか、ということを決断しなければいけない時期となりました。なんとか晴れの門出を祝うためにも卒業式・学位記授与式は挙行してあげたい、いやいや、4月からの準備で全国に移動する学生を卒業式・学位記授与式だけに集めるのは感染リスクが高すぎる、せめてクラス代表だけでも集めて小規模にできないか、人を集めないことが学生を守ることになる、など、執行部を中心に幾度も協議をしてきました。

しかしながら、現在の新型コロナウイルス感染者の発生状況や、国・自治体による感染拡大防止の切迫した取組を考えると、卒業式・学位記授与式のためにみなさんを全国から集めることは、感染リスク回避を優先とする地域に根差した大学として行うべきではないと判断し、今年度は一堂に会する対面方式での卒業式・学位記授与式を行わないことにし、卒業生、修了生、教職員のみなさんがそれぞれの場所から参画できるオンライン方式での卒業式・学位記授与式を実施することとしました。

卒業生、修了生のみなさんのこれまでの努力や苦勞、みなさんを指導された教員、支援された職員の気持ちのことを考えると、また、私自身、みなさんと直接お会いして共に卒業、修了を喜びたいとずっと思っていましたので、この決断は私にとって本当に辛い苦しい決断でした。

一方で、大学は健康で活力あふれる卒業生、修了生を社会に送り出す責務があります。この責務を果たしつつ、みなさんを新型コロナウイルスの感染から守ることを最優先に考えた上で、このニューノーマルな時代を先取りした最高の激励となる卒業式・学位記授与式にしたいと考えています。

みなさんには何卒ご理解の上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

鳥取大学長 中島廣光